

特定施設使用届出書

(1)、(2)の場合の届出様式です(該当する可能性がある場合は記載前にお問い合わせください)。
 (1) ある地域が規制地域となった際、現にその地域内に特定施設を設置している場合
 (2) ある施設が特定施設となった際、現に規制地域内にその施設を設置している場合

令和〇〇年△△月□□日

川口市長 殿

氏名又は名称及び住所 〇〇県〇〇市〇〇-△△-△△
 届出者 並びに法人にあつては □□金属加工 株式会社
 その代表者の氏名 代表取締役 □□ 〇〇
 (電話番号 〇〇〇-△△△-□□□□)

振動規制法第7条第1項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□金属加工株式会社 △△工場		※整理番号		
工場又は事業場の所在地	川口市〇〇-△△-□□		※受理年月日	年 月 日	
工場又は事業場の事業内容	事業所の日本標準産業分類の分類項目 E24 金属製品製造業		※施設番号		
常時使用する従業員数	役員を除く法人等の全従業員数(直接の雇用関係のパートタイム等の労働者を含む) 〇〇人		※審査結果		
振動の防止の方法	別紙のとおり。		※備考		
特定施設の種類 <small>備考2</small>	型式	公称能力	数	使用開始時刻(時・分)	使用終了時刻(時・分)
1-ロ 機械プレス	〇〇社製 ××-□□□	〇〇kN	2	8:30	20:00
2 圧縮機	□□社製 △△-×××	△△kW	1	8:30	20:00
この枠に書ききれない場合 別紙2に記載	公称能力の単位	機械・液圧プレス	〇〇kN	使用する可能性がある 最長の使用時間を記載	
		鍛造機	△△t		
		それ以外	□□kW		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
 2 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
 3 ※印の欄には、記載しないこと。
 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 5 特定工場等及びその附近の見取図並びに特定施設の配置図を添付すること。

同じ施設であっても騒音と振動で「特定施設の種類の」記載内容が異なる場合がありますので注意してください。

	騒音規制法	振動規制法
例1	1-ホ 機械プレス	1-ロ 機械プレス
例2	2 空気圧縮機	2 圧縮機

振 動 の 防 止 の 方 法

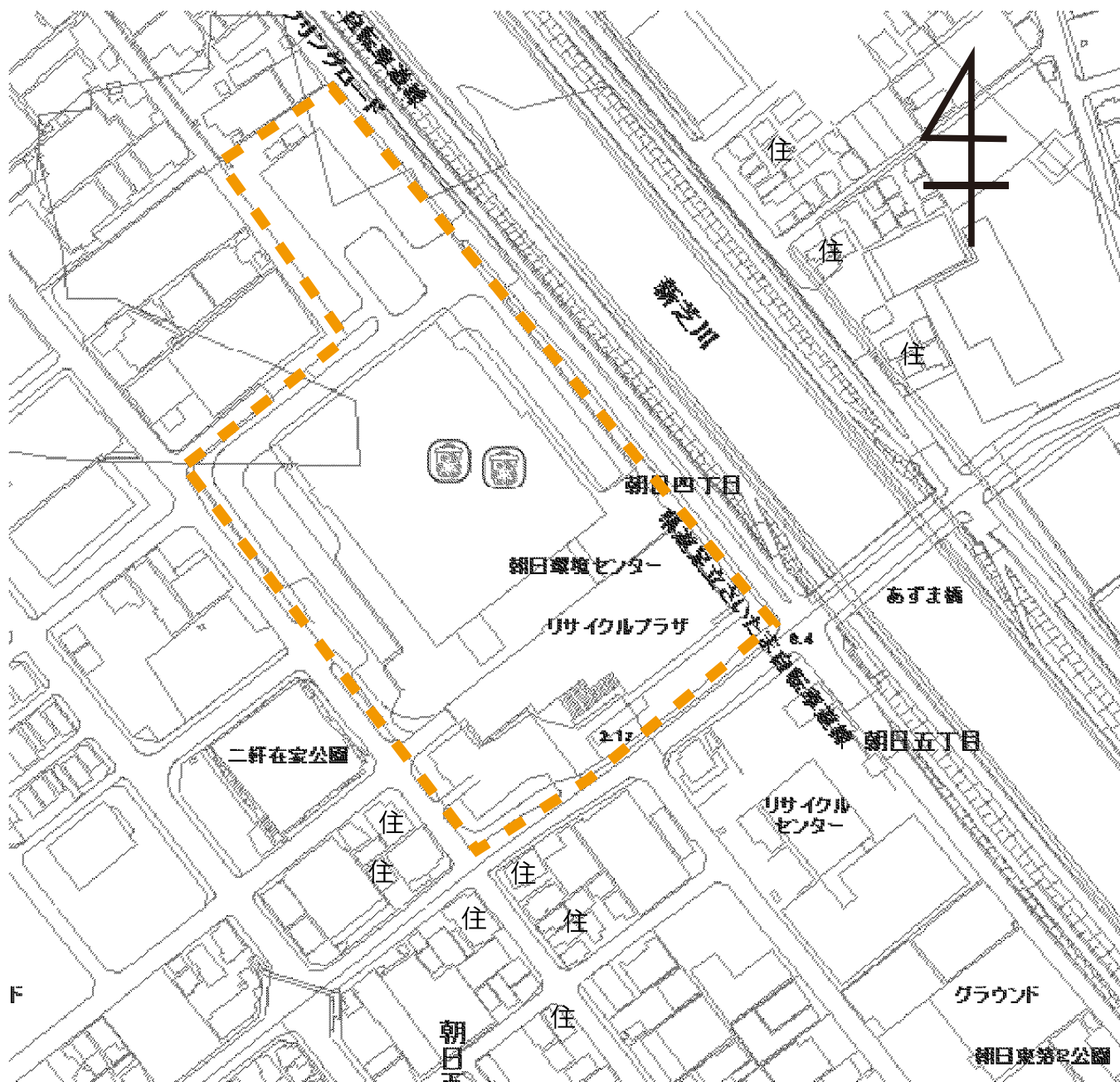
機械・液圧プレス機の振動防止について

1. 敷地境界線から〇〇cm以上距離を確保する。
2. 機械・液圧プレス機の下にゴムマットを設置し、振動低減に努める。

圧縮機の振動防止について

1. 敷地境界線から〇〇cm以上距離を確保した機械室に設置する。
2. 圧縮機の下にゴムマットを設置し、振動低減に努める。
3. 低振動型のスクリーコンプレッサーを導入する。

付近の見取図



敷地境界と周辺環境（施設周辺の建物の用途）を明記

特定施設の配置図

